

2006 年度実習報告書作成によせて

日本語文化専攻日本語教育学講座 日本語教育実習担当

鷲見 幸美

本年度も、多くの方々のご理解、ご協力を賜り、実習生が貴重な日本語教育実習を経験することができた。これまで同様惜しみなくご協力くださった名古屋市教育委員会、名古屋大学留学生センターの関係各位、本年度からご協力いただくこととなった株式会社アルティアセントラル、コスモグローバルコミュニケーションズスクールの関係各位に心よりお礼申し上げます。また、実習生を暖かく見守り、協力的に、積極的に日本語授業に参加してくださった学習者のみなさんにも感謝の意を表したい。

本年度の日本語教育実習は、春季実習に 9 名（日本語母語話者 6 名・留学生 3 名）、夏季実習に 4 名（日本語母語話者 3 名・留学生 1 名）が参加した。実習にかけた時間、労力、そしてその姿勢、熱意は、実にさまざまであるが、実習を通して実習生それぞれが何かを得たこと、また、より多くを注いだ者がより多くを得たことを確信し、嬉しく思っている。

実習生の奮闘記録であるこの報告書を、広く皆様に読んでいただき、ご助言やご批判をいただきたい。日本語教育実習にさまざまな形でかかわっておられる方々に、多少なりとも参考になることを、実習生共々願っている。